

(R5.6.1変更)

(昆虫類) 対策を優先して行うことを推奨するもの

No	目名	科名	和名	学名	ランク	定着 △：定着の怖れが高いもの ○：定着	国の指定 状況 特定(特定外来生物) 被害(生態系被害防止外来種)	本県での影響										分布 △：古い記録、不確実な情報、可能性高いもの	影響を及ぼすフィールド	備考									
								生物多様性への影響					産業影響								人への影響								
								競合、捕食、駆逐など	交雑による遺伝的攪乱	寄生虫などの媒介	在来生物への病原菌、生態系基盤の改変	農業への影響	林業への影響	漁業への影響	利水・治水障害	景観への影響	人への健康被害				人への直接被害	神戸・阪神	播磨東部	播磨西部	但馬	丹波	淡路	池沼・湖沼	河川・水路(河川敷含む)
R5-3	コウチュウ	カミキリムシ	ツヤハダゴマダラカミキリ	<i>Anoplophora glabripennis</i>	Z	△	特定																						2020年から神戸市の六甲アイランドにおいて街路樹のアキニレでまとまった数が確認されている。 国際自然保護連合が定める世界の侵略的外来種ワースト100の1種に選定されている。 国内ではここ1~2年に宮城県、福島県、茨城県、埼玉県、神奈川県、愛知県、富山県から、街路樹でもあるアキニレやモクゲンジ等で幼虫による食害が報告されている。原産国等では、バラ科の果樹などを食樹としていることが知られている。 被害木は、羽化した成虫の飛散防止のため、ネット防除が望ましい。 被害木を伐採する場合は、成虫が羽化する春~夏を避けて行い、早急に燻蒸又は焼却処分する必要がある。切り株は可能な限り伐根する。困難な場合は、ビニールシート等で覆い、逸出防止措置を図ると良い。